



暑中お見舞い申し上げます！

校長 永山 一三

44日間の夏休みが始まり、四分の一の11日が過ぎました。子供たちは、充実した夏休を過ごしているでしょうか。残る33日間も、無事故・無けがで過ごしてほしいと思います。

さて、終業式で、子供たちに校長からの宿題を一つ出しました。この宿題は、絶対にやってきなさいと伝えてあります。その宿題とは、以下のことです。

「夏休みに、私は、〇〇をしました。」「私は、〇〇ができるようになりました。」と、一つでいいので、校長に言えるようにしましょう。

夏休みの合言葉は、「2学期へつなぐ」です！

2学期は、一年のうちで、子供たちが大きく成長する学期だと思います。そのために、夏休みはその力を充電する大切な期間です。そこで、以下のことをぜひご考慮いただきたいと思います。

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを保障してあげてください。
 - ② 子供が家族のために働くことができる場をつくり、自分は役立つ存在なのだと思うように工夫してください。
 - ③ わが子のよさを、声に出して、ほめてあげてください。
 - ④ 家族で楽しく過ごした思い出を、一つでいいので残してあげてください。
- これらの経験は、子供が大人になっていく大きな糧になります。

お願い

平成31年度の宇宙留学生の募集が、9月1日から始まります。当校としては、これまでのように、保護者の皆様や校区の皆様のお力をいただき、児童数・学級数の確保と学校に新しい風を吹き込むことで、子供たちに豊かな教育環境を整備するために、宇宙留学生を数人迎えたいと思っています。そこで、以下の二つの留学について、情報がある方やご協力いただける方は、ぜひ学校（電話 26-6255）までご連絡ください。

親戚留学（小学1年生～中学3年生まで）

親戚限定の留学です。3親等以内の親戚、つまり、おじ・おば・祖父母のもとで1年間の留学ができます。

里親留学（小学2年生～中学3年生まで）

自分の子供の兄弟姉妹として育てることができます。また、2回目の子育てができます。集落に子供の声が響きわたり、集落が活性化します。

町図画作品審査会

スケッチ大会で描いた絵を町の図画作品審査会に出しました。今年度は、15名の子供たちの絵が入賞しました。

夏休みにも、絵のコンクール応募もたくさんあります。素敵な絵を描いて、ぜひ、応募してくださいね。

【町図画作品審査会入賞】

1年	特選 入選	4年	特選 入選
2年	特選 入選	5年	入選
3年	特選 入選	6年	入選

※3年〇〇〇さんの作品は、熊毛地区の審査会に選ばれました。



教頭のひとごと・・・

夏休みと言えば『ラジオ体操』を思い出します。

私のラジオ体操をする場所は、家から少し離れた公民館の庭でした。公民館に行く途中にいる吠える大きな犬の前を通るのがこわかったのを覚えています。

公民館に着くと、体操が始まるまでの間にすることといったら、公民館の裏の急な坂道を、タイミングよく公民館に置いてあるリヤカーを使っの遊び。年上の兄さんたちが、小さい私たちを（そんな時期もあった・・・）リヤカーに乗せてジェットコースターのように坂道を走るとい・・・今考えると恐ろしい遊びを朝の短時間に満喫していました。

（いけないけど楽しかった）そんなスリル満点の遊びをしてからの『ラジオ体操』は、眠たい目をこする感じではなく、動きもよかったものだったと思います。

体操が終わった後、中学生のお兄ちゃんにハンコをもらってから、当番の子が、みんなの前で国語の音読をするのも定番でした。自分の番の前日は、一生懸命練習をしたものです。朝の時間は、まだまだ続きます。集落の大人の方が、戦争があった頃の話や戦争のこわさ、平和な世の中の大切さを話してくださいました。『ラジオ体操』というと鮮やかに蘇る私の一連の思い出です。今思えば、短い時間にみんなでいろんなことを経験し、学んでいたんだなと思います。

今の子供たちも『ラジオ体操』をして、音読もあるようです。自分たちが小さな頃にやっていたことと重なることが多いのもうれしい限りです。みんなで集える場になる『ラジオ体操』子供たちも大人になって思い出す日がくるのかな～

夏休みは、まだまだ続きます。『ラジオ体操』を思い出してとは言いません。大人になって「子供のころこんなことしたなあ。懐かしいなあ。」と思い出せるような「夏休み」を過ごしてほしいですね。

